

NPO 法人 日本ビオトープ協会  
**第10回ビオトープ顕彰受賞作品の紹介**

◇顕彰委員会委員長の講評

『ビオトープフォーラム in 滋賀』（2018年6月1日）にて

4月に顕彰委員会を開催、各地から多様性に富んだビオトープのご応募をいただき、自然環境と人間環境をどのように結びつけるか皆様ご尽力いただいております。感銘をうけました。受賞された皆様のご紹介を兼ねて講評をさせていただきます。



◎ビオトープ大賞を受賞されました「住友パークライト・ビオトープ『憩いの杜』」は、専門の先生方も一緒に生態系調査を行われ、すでに約5年が経過しております。整備、モニタリング等非常に精力的に行っています。企業の中のビオトープとして、工場内敷地の一部を再整備し、水辺と森をうまく調和させて、野生生物が多く息する空間となっています。社内観察会、一般公開、環境教育プログラムなど、企業ビオトープの枠を超えた活動としても高く評価させていただきました。

◎CSR 特別賞の「湯屋（ゆや）のへーベルビオトープ」は、50年前にあったため池や雑木林などを復元し、湖東地域の生物多様性の再生と充実に貢献する各種活動を行っています。企業ビオトープとして、地域や従業員と一体となった実践活動は高く評価できます。整備が進められてからの年数が短いこともあり、今後も継続的な環境活動やビオトープ整備を続けていただきたいと思います。

◎環境教育賞の「青松の森」は、周辺の森林を非常にうまく活用しながら、4年ほど前に整備されており、保護者・企業・地域住民のとの連携も図られている学校ビオトープです。森を中心とした定点観測をされており、ビオトープの生態系調査も今後積極的に行っていただきたいと思います。

◎環境教育賞の「比治山短期大学短期大学部附属幼稚園『ひじやまビオトープ』」は、専門家の方・先生方・地域の人々・保護者、園児などが一体となった、「生き物のふしぎを発見する場」というコンセプトで活動されています。具体的には、比治山短期大学幼児教育科の学生の研修の場として、また、子どもたちに自然や生き物と触れ合う貴重な体験学習の場として、有効に活用されています。

◎地域貢献賞の「大石田町民の森」は、山形県の里山環境を生かした整備が20年以上行われていて、保険型休養林の公共ビオトープの一つであります。保護を目的としたメダカ放流なども行われておられますが、さらに地元の方々とののかかわり、活動を増やしていただきたいと思います。

◎技術特別賞の「水嶋の庭一水・緑・景一」は、生物多様性あるいは自然環境のネットワークづくりの視点から、都市部に必要とされる生き物空間・ビオトープのモデル事例であります。企業の駐車場とともに整備されたものであり、まだ間もないですが、今後継続的な維持管理をすることにより都市の中の充実したビオトープとなると期待しております。

以上、各表彰をさせていただきました6件のビオトープに対し、講評ご紹介をさせていただきました。

受賞された皆さまのご努力に敬意を表します。


（横浜国立大学名誉教授・前学長、自然環境復元学会会長、協会代表顧問 鈴木邦雄顕彰選考委員長）

◇ビオトープ大賞

【下記各顕彰書類より転記】

<b>名称</b>	住友パークライト・ビオトープ「憩いの杜」
<b>受賞者</b>	住友パークライト株式会社、常葉大学 山田辰美名誉教授、株式会社エクノスワタナベ、株式会社静岡グリーンサービス
<b>【テーマ・概要】</b>	
<p>常葉大学山田教授（現在名誉教授）の監修の下、まず1年かけて生態系調査を実施し、工場と立地する地域の環境の実態と潜在自然の評価に基づいて、地域の生物多様性再生のために「保全・復元目標」を抽出した。続いて、目標達成のための環境改善（造成・整備）を5ヶ年かけて取り組んだ。造成中からのモニタリング調査で、ミナミメダカ（静岡県中部で絶滅危惧ⅠA）やヤマトタムシが以前よりも増加した他、生物多様性の向上が見られた。</p> <p>造成段階から社内に向けた観察会の実施、地域の行政や市民へのご案内、近隣事業所へのメダカの提供などの啓発活動を継続した。造成後は市民への一般公開を開始し、ガイドツアーや自然体験学習などの環境教育プログラムを準備するなど、環境学習や地域とのコミュニケーションに努めている。</p>	
<b>【整備方針と管理手法】</b>	
<p>工場内に設けたビオトープ委員会を定期的で開催し、モニタリング結果など関連情報を共有し、保全活動に当たっている。改変を伴うビオトープ整備は委員会で行うが、造成後の維持管理の重要性を従業員に周知させ、事業所全体で構内美化の活動の一環として各部署で役割を分担し、除草などの維持管理を定期的に行っている。これらの作業は、ビオトープ造成時に作成したメンテナンスマニュアルに沿って行うが、順応的管理に当たっては山田教授の指導の下で、委員会が主体となって新たなエコアップ活動に取り組んでいる。</p>	


## ◇CSR特別賞

名 称	湯屋（ゆや）のヘーベルビオトープ
受賞者	旭化成住工株式会社、株式会社ラーゴ
<p><b>【テーマ・概要】</b></p> <p>昭和45年ごろの航空写真によれば、約50年前のこの地域（滋賀工場建設前の湯屋地区）には溜池や水田、雑木林などの里山環境が広がっており、豊かな水辺生態系があったと考えられる。</p> <p>本件ビオトープは、旭化成住工株式会社 滋賀工場の生物多様性保全活動のシンボルとして、また、全ての従業員や地域、取引先、学校、行政機関などとの連携の中心となる存在として整備を行うこととし、工場敷地の過去の状況や、地域の歴史などを踏まえてコンセプトを検討した。</p> <p>湖東地域の生物多様性を保全することとし、以下の4つの活動を中心に行うこととした。①水辺生態系の復元②ヨツボシトンボの保全③エコロジカルネットワークの強化④環境教育・啓発活動</p>	
<p><b>【整備方針と管理手法】</b></p> <p>現在の工場周辺で、自然豊かな水辺環境は山奥に残されたわずかな場所に限られていることから、かつての環境の一部を復元することによりトンボが飛び交う当時の原風景を再現したいと考えた。計画に当たり周辺地域の生物調査を詳細に実施した。植栽する植物や水深などはこの生物調査の結果を反映し、地域の生態系を復元することとした。かつて工場建設により埋め立てられた6つの溜池の内、3つの溜池の形状を1/5スケールで再現し、水深や植栽に変化をつけ、1つを降雨時のみの一時的水域にするなど多様な水辺環境を復元した。</p> <p>土は、希少種のヨツボシトンボが数多く生息する近隣湿地のものを使用した。植栽した植物、ハンノキ、アゼスゲ、ヨシ、チガヤ、ミクリなどはすべて近隣湿地や溜池から移植し、池の形、土、植物などすべてのモノを地域産にこだわった。</p> <p>ビオトープ内の草刈りなども生物モニタリング調査を反映し、トンボの繁殖期には水辺の植物を残すなど順応的に管理している。</p>	
	


## ◇環境教育賞

名 称	青松の森
受賞者	社会福祉法人得雲会、株式会社鈴建
<p><b>【テーマ・概要】</b></p> <p>当園「青松こども園」のある愛知県豊田市は自動車の町として栄えてきた。一方で、今日、都市部では自然環境が減り、様々な企業や施設がエコや緑化に積極的に取り組んでいる。当園周辺の施設に作られたビオトープと融合し、この豊田市の環境保全に地域ネットワークの一端を担う園でありたいという想いから、ビオトープ設置を考えた。</p> <p>更に、当園の保育の基本理念は「遊び 学び 育つ」であり、子どもが「学び育つ」ための根本は、すべて「遊び」から始まるものであると考えている。興味・関心を持って遊ぶことで、探索する意欲が芽生え、自ら考え学べる子を育てたい。自然の中での「遊び」は、子どもの好奇心や探求心を喚起し、生物の知識だけでなく、命の尊さや思いやる心、豊かな感性までもが育まれ、子どもの心身の健やかな成長に繋がると考えている。つまり、園庭は屋根のない保育室。保育環境の一つと考えるこのビオトープは、子どもの成長に必要な教材としての目的がある。</p> <p>当園のビオトープを持続的に有効活用させていくことで、子どもの自然環境理解、人間性の育成、地域活性化の拠点としての役割を果たしたい。人と自然が共存する美しい地域を目指し、子どもや保護者、地域と共に「遊び、学び 育つ」場にしていきたいという想いがある。</p>	
<p><b>【整備方針と管理手法】</b></p> <p>周辺環境樹林に配慮した施工をしている。</p> <p>残存森林は樹高が高く、自生種以外の園芸種が多く密になっており、また、ナラ枯れが発生している。そのため落葉樹を中心に選び、常緑樹を少数選定し間伐を行い落葉樹主体の立木密度が低く明るい若齢林に移行することを目指す。（枯れた枝が折れて落下する危険性もある。）</p> <p>間伐された林内は、今まで地中に眠っていた種が芽吹き多様な緑化が実現する。また明るい林内では生物の種類と数が増加し、若齢林ではナラ枯れが発生しない。立木の密度を低くすることにより林内に入りやすく見通しが良かったため防犯面でも都合がよい。</p> <p>ビオトープ池の周囲には築山を創り、自生種を中心とした樹木の植栽を行い、多様な森の再生を図る。</p> <p>豊田市で最も歴史深い当園にはどんぐりの木があり、樹齢も古く、傾斜になっている土地を利用したビオトープになっている。ビオトープを永続的に整備・管理するために保育者間で「ビオフレズ」と呼ばれる組織を結成し、環境保全のための清掃や観察、生態系を学ぶ機会として活動している。</p>	
	

## ◇環境教育賞

名 称	比治山大学短期大学部附属幼稚園「ひじやまピオトープ」
受賞者	学校法人比治山学園、株式会社カジオカL.A
<p><b>【テーマ・概要】</b>～子どもたちが遊び学べるピオトープ～</p> <p>本園は牛田山の緑に囲まれ、眼下に太田川の清流を臨む天水の丘にあります。園庭には「さくらの森」や「ピオトープ」が拡がり、子どもたちは、自然に恵まれた環境の中で日常的に自然を身近に感じ「いきいき・のびのび・ときどき」充実した遊びを展開しています。五感を総動員させて遊びながら身体全部を使ってたっぷり自然のありようを感じ取り原体験を重ねることで、豊かな感性が育ち、科学的なものの考え方にもつながることを願っています。特に「ピオトープ」は生き物に対する優しい心の育成や、生き物の観察を通して、なぜ？ どうして？ 等、生き物の不思議を発見する「学びの場」（環境教育の場）となっています。</p> <p>年2回の外部講師を招聘しての観察会では、子どもたちの真剣に話を聞く姿、質問する姿、発見する姿に感心します。</p>	
<p><b>【整備方針と管理手法】</b></p> <p>子どもたちに自然や生き物に触れ合う豊かな活動を体験させたいという思いから、2005年に保護者ボランティアの方々によって「ピオトープ」が作られました。その頃は、毎年モリアオガエルが産卵し卵塊ができていましたが、8年目から「ピオトープ」に水漏れが起こり、園舎の解体工事に時にピオトープも埋め立ててしまいました。幼稚園の環境が子どもたちに多大に影響することから、より良い環境として2016年9月に新たに「ピオトープ」を造成しました。水の循環、水生植物の育成等心掛けるなど管理には十分気を配っています。</p>	
	

## ◇地域貢献賞

名 称	大石田町民の森
受賞者	大石田町、社会福祉法人敬天会 指定障害者支援施設水明苑、株式会社マルニシ、内山晴信氏
<p><b>【テーマ・概要】</b></p> <p>山形県大石田町黒滝地区にある町民の森は、黒瀧山、向川寺境内の一部の自然植生を生かしながら、森林や水辺の環境保全機能の強化と自然体験学習を目的とした保健休養型の森林が整備され、その際、水辺施設（防火施設、以下「ピオトープ」）が平成9年度に整備されました。</p> <p>町民の森には、トンボ池ピオトープ（防火施設）や展望台が整備され、その他いこいの森、木漏れ日広場等、様々な環境が散策路で繋がれており、多様な動物・植物が見られます。トンボ池ピオトープには、絶滅危惧種に指定されているメダカなども生息し、同じく周辺の樹林等には、絶滅危惧種のギフチョウ・ヒメギフチョウの混生地が地元有志により維持されています。</p>	
<p><b>【整備方針と管理手法】</b></p> <p>整備方針として、自然植生を生かしながら、森林の環境保全機能の強化と、森林浴や自然体験・学習を目的とした保健休養型の森林整備を行いました。</p> <p>管理体制は里山の知識が豊富なシルバー人材センターに委託する形で行われており、展望台周辺は、夏季間についてはおおよそ月1回のペースで除草が行われています。</p> <p>トンボ池ピオトープでは、隣接する指定障害者支援施設「水明苑」の生徒が中心となり、保護を目的としたメダカの放流が行われています。</p>	
	

## ◇技術特別賞

名 称	水嶋の庭—水・緑・景—
受賞者	水嶋建設株式会社、株式会社鈴鍵
<p><b>【テーマ・概要】</b></p> <p>本社駐車場増設に伴い、緑化スペースの拡大を図る。 『都市部における生態系ネットワークの拠点づくり』 “出来るだけ多様な自然を出来るだけ身近に呼び寄せ、都市部の中に緑の息吹を吹き込ませる”をコンセプトとして施工。 駐車場は緑化舗装で施工し緑の駐車場を作りました。 敷地の一面には、生物の憩いの場としてピオトープを創出し、地域の子供たち、住民に開放しての環境づくり、お客様が気軽に来ていただける雰囲気づくりを目指しました。</p> <p>「水・緑・景」の意味 水…社名にもある水。命の源。水の流れの心地よい音。 緑…緑あふれる大地。鳥や昆虫などの集う場所。 景…その場のあり様。 水辺、緑の木々、そこに集う多様な生物のありのままの景観</p>	
<p><b>【整備方針と管理手法】</b></p> <p>様々な生き物たちが「休息できる場所」 人間にとっても「居心地のよい場所」 木や草はその土地に自生している植物を植栽している為、生物が違和感なく訪れる環境を創り出す。 水源は循環式で、補給水は水道水を使用しています。水道水はカルキを抜く為に完成後2日～3日ほど循環運転をした後、少量ずつ水道水を補給しています。 現在、メダカ、タナゴ、シラハエなどを放流しています。また、近くに森や田んぼ、池がある為、多くの生物が訪れることが期待されます。</p>	
